

令和5年度 第1回 ヘルスソーシャルキャピタル 審議会

令和5年5月11日(木) 13:00~

和光市健康保険医療課

1. 中間見直しについて ①

第1章 計画の中間評価・見直しについて

(1) 計画の見直しの目的及び背景

- 1) 国の動向(健康日本21(第二次)評価、第三次推進)
- 2) 県の動向(健康埼玉21、埼玉県健康増進計画)
- 3) 市の動向

(2) 計画の位置づけと他の計画との関係・・・P.4参照

(3) 計画の期間

(4) 計画見直しに向けた取組

(5) 計画の見直しの方針・・・ 次頁参照

1. 中間見直しについて②【第1章(5)】

○ 中間見直しの方向性

【方針1】

第二次健康わこう21計画・第三次食育推進計画の枠組みを踏襲する

【方針2】

人口動態及び計画前期の実績を踏まえた施策の見直し

【方針3】

当初計画策定時に「見直す、検討する、設定する」等としている事業等の数値等の設定

【方針4】

社会情勢を踏まえ、変更・検討すべき事項についての検討

1. 中間見直しについて ③

第2章 基本理念・基本方針

(1) 基本理念

「地域包括ケアシステムの構築による総合的な健康づくりと健康社会の実現」

(2) 基本方針

1. 疾病予防、重症化予防施策のさらなる推進による医療費適正化
2. 「セルフヘルスケアマネジメント」の普及による食育と連動した生活習慣病予防の強化
3. 特定健診・特定保健指導における改善率を評価指標とし、目標値を設定した事業管理を推進
4. 健康づくり基本条例の機能を活用した、課題解決への新たなアプローチ手法の創出
5. 東京オリンピック・パラリンピック開催を契機として、ヘルスパートナーによるわがまち・わが地域の健康づくりを推進

(3) 重点項目の概要

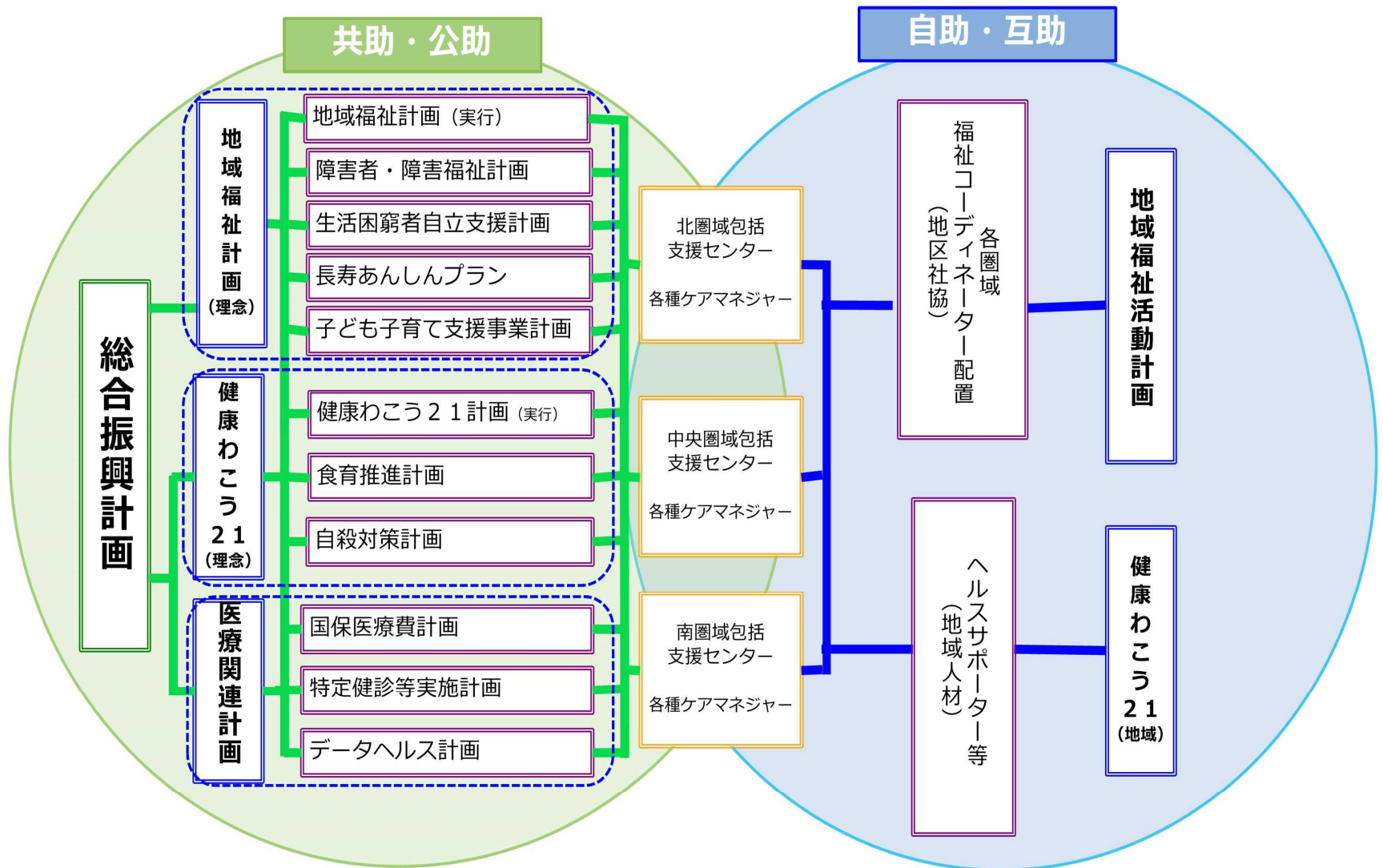
第3章 見直しの内容

(1) 見直しにあたっての人口の変化

(2) 「見直す、検討、設定」等としている事業の数値等の設定

(3) 施策の計画前期の評価と見直しの方向性

2.第1章(2)計画の位置づけ及び他計画との関係



3. 「見直す、検討、設定」等としている事業の数値等の設定 ①【第3章(2)】

計画書 ページ	計画書 図表	指標	項目	目標値	見直しの方向性
74	73	特定健診受診者の改善率 向上及び未受診者に対する フォロー	②国民健康保険特定保 健指導の想定対象者数	H35 586人	健診受診人数の変動がある ため、人数ではなく割合を目 標値とする。
79	76	健康的な食生活・食行動	②食塩摂取量の減少	男性 8.0g 女性 7.0g	2020年度食事摂取基準で、 男性7.5g 女性6.5gに変 更。
83	78	適切な身体活動・運動習 慣の定着に関する評価指 標	①1回30分以上の運動 を週2回以上している人 の割合	20～64歳 34.5% 65歳以上 53.0%	健康日本21:1回30分以上、 1年以上運動をしている者と なっている。 →今回調査に組み込む
85	79	習慣的喫煙の削減に関す る評価指標	②受動喫煙の機会を有 する者の割合	家庭 3.0%	健康日本21計画では、望まない 受動喫煙のない社会の実現を目 標に変更しているため、絆調査は、 家庭かそれ以外かの質問に修正 し、目標を変更。
88		主に働いている人の休養 の重要性	ストレスの要因を分析す るための市民の睡眠に 関する実態の把握	R5年度調 査実施 R6年度以 降取組検 討	東京医科大学との連携協定 のもとR5年度以降に市民調 査を実施し実態把握を行う。 各計画において連携を図る。

3. 「見直す、検討、設定」等としている事業の数値等の設定 ②【第3章(2)】

計画書 ページ	計画書 図表	指標	項目	目標値	見直しの方向性
90	81	がんの早期発見・早期対応に関する評価指標	②がん検診要精検受診率	胃・肺・大腸・乳・子宮全項目90%以上	目標値の参照が健康日本21となっているが、記載がない。第4期がん対策推進基本計画、第3期埼玉県がん対策推進計画のR5目標値は全項目90%以上となっている。
92		現役世代からの健康増進支援	対象:社会保険加入者の若年層・中年層と国民健康保険加入者の若年層	HPやチラシ等で趣旨普及	社会保険加入者へのアプローチは困難。市民全体への趣旨普及活動を推進する。
94	82	脳血管疾患・心疾患に関する評価指標	①国民健康保険加入者の脳梗塞、心筋梗塞の入院発生数の抑制	46人 (-11.5%)	社会保険加入者についてはデータ収集が困難であるため、市民全体への趣旨普及活動を推進する。
			②国民健康保険加入者の糖尿病、高血圧症、脂質異常症の傷病名を2項目以上合併する者の減少	1009人 (-6.1%)	社会保険加入者についてはデータ収集が困難であるため、市民全体への趣旨普及活動を推進する。

3. 「見直す、検討、設定」等としている事業の数値等の設定 ③【第3章(2)】

計画書 ページ	計画書 図表	指標	項目	目標値	見直しの方向性
96	83	生活習慣病重症化予防事業参加者に関する評価指標	①国民健康保険加入者の生活習慣病重症化予防対策事業参加者中の検査数値改善者割合の増加(事業前後の測定値または直近金健診結果との比較)HbA1c、血圧、eGFR(推定子宮体濾過値)のうち1つ以上	当該年度参加者数中の30%	社保加入者についてはデータ収集が不可能。国民健康保険加入者及び市民全体への趣旨普及を図る。
			②国民健康保険加入者の新規人工透析導入者数(年度末集計)の抑制 ※人工透析実施者の国保新規加入を除く	2人	社保加入者についてはデータ収集が不可能。国民健康保険加入者及び市民全体への趣旨普及を図る。
99		メンタルヘルスに関わる取組	現役世代のメンタルヘルスに係るリスクの実態把握	R5年度調査実施 R6年度以降取組検討	東京医科大学との連携協定のもとR5年度以降に市民調査を実施し実態把握を行う。各計画において連携を図る。
100	86	地域における健康づくりの取組に関する評価指標	①ヘルスサポーター養成者数	1,000人	令和4年度末現在のヘルスサポーター養成者数308人であり、現実的に1,000人養成は難しいため、実施方法等目標人数の見直しを検討。

4.調査票の追加項目について①

●アンケート回答前の質問

問1.アンケートのご回答を、市の施策立案や学術研究に利用してもよろしいですか。

※個人情報 は匿名化し、集計された平均値や分析結果のみが公表されます。[○は1つ]

1.はい

2.いいえ

問1

対象:全年齢

今後のデータ取り扱いへの同意とするため追加。

問3.あなた(宛名の方)が、今生活している場所はどこですか。[○は1つ] →変更

1. 自宅(借家も含む)

2. 長期入院中 ※短期入院の場合は「1」に○

3. 施設入所中(特別養護・有料老人ホーム、グループホーム等)

4. 市外へ転出 5. その他

2～5にご回答の方はここで終了です。ありがとうございました。
返信用封筒に入れてアンケートをご返送下さい。

問3

対象:全年齢

住民表が和光市にあり、かつ在宅で生活している
市民を対象としている。

4.調査票の追加項目について②

●健康状態について

問 4-1. 特定保健指導の対象になりましたか。また、対象になった場合、

特定保健指導を受けましたか。[○は1つずつ]

1. はい → 特定保健指導を 1. 受けた 2. 受けていない
2. いいえ

問4-1

対象:40歳以上

指標「健康体格の実現」「特定健診受診者の改善率向上及び未受診者に対するフォロー」の実態を把握するため追加。

問 10. 健康への意識・関心について、あてはまる回答の番号に○をつけてください。[○は1つずつ]

		そう思う	まあそう思う	思わない	あまりそう思わない
a	私は、健康への意識が高いほうだ	1	2	3	4
b	自分の健康に関する情報に興味がある	1	2	3	4
c	健康状態の変化に気を付けている	1	2	3	4
d	周りの人より私は健康を意識している	1	2	3	4
e	健康のためにはある程度時間を割くべきだ	1	2	3	4
f	健康のためにはある程度お金をかけてもよい	1	2	3	4
g	健康を第一に考えて暮らしたい	1	2	3	4
h	健康でいるためなら何でもする	1	2	3	4
i	健康より遊びや趣味が大切だ	1	2	3	4
j	病気を予防するより、病気になったら治療すればよい	1	2	3	4
k	病気になったときだけ自分の健康が心配だ	1	2	3	4

問10

対象:全年齢

「健康関心度尺度」健康に関心がない層の実態や特性を把握し、健康づくりの施策決定における資料とするため追加。

4.調査票の追加項目について③

問 11. 次の質問について、あてはまる回答の番号に○をつけてください。[○は1つずつ]

		している	できるし、 していない	できるけど、 していない	できない
a	バスや電車を使って1人で外出していますか。(自家用車でも可)	1	2	3	
b	自分で食品・日用品の買物をしていますか。	1	2	3	
c	自分で預貯金の出し入れをしていますか。	1	2	3	
d	友人の家を訪ねていますか。	1	2	3	
e	家族や友人の相談にのっていますか。	1	2	3	
f	階段を手すりや壁をつたわずに昇っていますか。	1	2	3	
g	椅子に座った状態から何もつかまらずに立ち上がっていますか。	1	2	3	
h	15分位続けて歩いていますか。	1	2	3	
i	半年前に比べて固いものが食べにくくなりましたか。	1. はい	2. いいえ		
j	お茶や汁物等でむせることがありますか。	1. はい	2. いいえ		
k	口の渇きが気になりますか。	1. はい	2. いいえ		
l	口腔体操(舌や口周りの筋肉を動かす運動や早口言葉など)をしていますか。	1. はい	2. いいえ		
m	筋力運動(ゴムチューブ、重りを使用した運動、スクワット等の自分の体重を使った運動)をしていますか。	1. はい	2. いいえ		
n	6か月間で2~3kg以上の体重減少がありました	1. はい	2. いいえ		
o	周りの人から「いつも同じことを聞く」など、物忘れがあるとされますか。	1. はい	2. いいえ		
p	自分で電話番号を調べて電話をかけることをしていますか。	1. はい	2. いいえ		
q	今日が何月何日かわからない時がありますか。	1. はい	2. いいえ		

4.調査票の追加項目について④

問12. 過去1年間に転んだ経験がありますか。[○は1つ]

1. 何度もある 2. 1度ある 3. ない

問13. 転倒に対する不安は大きいですか。[○は1つ]

1. とても不安である 2. やや不安である 3. あまり不安でない 4. 不安でない

問14. 週に1回以上は外出していますか。[○は1つ]

1. ほとんど外出しない 2. 週1回 3. 週2~4回 4. 週5回以上

問11~14

対象: 65歳以上

基本チェックリストの項目(l, m以外)。

フレイルの評価に用いる。

問11のl, m、問15は、「フレイル予防ちよい足し事業」の評価に用いるため追加。

●運動・身体活動（からだを動かすこと）について

問15. 軽い運動・体操や定期的な運動・スポーツをしていますか。[○は1つ]

1. はい 2. いいえ

問16-1. 1回30分以上の軽く汗をかく運動をどれくらいの期間継続していますか。

1. 1年未満 2. 1年以上

問16-1

対象: 全年齢

健康日本21の指標とあわせるため追加。

4.調査票の追加項目について⑤

●運動・身体活動（からだを動かすこと）について

問18.普段の1週間で、仕事中に次の強度の身体活動を行なう日は何日ありますか。

- a)強い身体活動（重い荷物の運搬作業、肉体労働等）
- b)中等度の身体活動（軽い荷物の運搬作業等）

問19.普段の1週間で、自宅で次の強度の身体活動を行なう日は何日ありますか。

- a) 庭で強い身体活動（重い荷物の運搬、穴掘り等、かなり呼吸が乱れるような作業）
- b) 庭で中等度の身体活動（軽い荷物の運搬等、少し息のはずむような作業）
- c) 家の中で中等度の身体活動（軽い荷物の運搬、力を使う介護、子供と動き回って遊ぶ等、少し息のはずむような活動）

問20.普段の1週間で、余暇の時間に次の強度の身体活動を行なう日は何日ありますか。

- a)強い身体活動（ジョギング、速く泳ぐ、登山等のかなり呼吸が乱れるような活動）
- b)中等度の身体活動（ゆっくり泳ぐ、テニスのダブルス、野球、平地でのハイキング等の少し息がはずむような活動）

問18～20

対象:全年齢

身体活動量を定量化するための設問（世界標準化身体活動質問票、Global Physical Activity Questionnaire; GPAQ）。ドメイン毎の身体活動量や、問42の項目と合わせることで総身体活動量を算出することができる。

身体活動のドメイン毎に健康アウトカムとの関連が異なることが報告されており（例えば、仕事中ではなく、余暇の身体活動が良好な健診結果と関連）、市民の身体活動の実態をより詳細に把握するため追加。

4.調査票の追加項目について⑥

●運動・身体活動（からだを動かすこと）について

問21.「わこう健康マイレージ」を知っていますか。[○は1つ]

1. 知っているし、参加・利用している → 参加・利用期間 約_____年_____ヵ月
2. 以前は参加・利用していたが、今はしていない
3. 知っているが、これまで参加・利用したことはない
4. 知らない

問22.和光市には、健康遊具が設置されている公園や運動・スポーツをするための場所がある公園があります。そのような公園を利用していますか。[○は1つ]

1. よく利用している
2. ときどき利用している
3. まれに利用している
4. 知ってはいるが、利用していない
5. 知らないので、利用していない

問23.公園以外の公営の運動・スポーツをするための施設を利用していますか。[○は1つ]

1. よく利用している
2. ときどき利用している
3. まれに利用している
4. 知ってはいるが、利用していない
5. 知らないので、利用していない

問21～23

対象:全年齢

身体活動を促す施策の評価ができるよう追加。

4.調査票の追加項目について⑦

●食生活について

問26.次の食べ物をどのくらいの頻度で食べていますか。最近1週間ぐらいの食事について、あてはまる回答の番号に○をつけて下さい。[○は1つずつ]

		2 回 毎日 以上	毎日 1 回	4 回 1 週 6 に 回	2 回 1 週 3 に 回	週に 1 回	1 回 週に 未満	食ほと べなん いど
a	ごはん	1	2	3	4	5	6	7
b	パン	1	2	3	4	5	6	7
c	麺類	1	2	3	4	5	6	7
d	魚介類(生鮮・加工品、すべての魚や貝類)	1	2	3	4	5	6	7
e	肉類(生鮮・加工品、すべての肉類)	1	2	3	4	5	6	7
f	卵(鶏卵・うずらなどの卵で、魚の卵は除く)	1	2	3	4	5	6	7
g	牛乳(コーヒーマル牛乳やフルーツ牛乳は除く)	1	2	3	4	5	6	7
h	乳製品 (ヨーグルト・チーズ等。バターは含まない)	1	2	3	4	5	6	7
i	大豆製品 (豆腐・納豆など大豆を使った食品)	1	2	3	4	5	6	7

問26

対象:全年齢

前回調査では、ごはん、パン、麺類を一括りとしたがより詳細な分析ができるよう、それぞれについて質問。
食品摂取の多様性およびたんぱく質の摂取不足のリスクを評価するため、摂取頻度の選択肢を細分化。

4.調査票の追加項目について⑧

●食生活について

問29.次の設問について、あてはまる回答の番号に○をつけてください。[○は1つずつ]

a	食事は満腹になるまで食べますか。	1. よくある	2. 時々ある	3. ほとんどない
b	1日に煮物は何皿食べますか。	1. 4皿以上	2. 2~3皿	3. 1皿以下
c	1日に漬物は何種類食べますか。	1. 2種類以上	2. 1種類以下	問29 対象:全年齢 前回調査では、食物摂取頻度調査 FFQg(建帛社)の一部項目を使用したが、食塩摂取量を算出するために必要なソフトの販売が現在終了になったため、代替項目として、推定食塩摂取量が算出できる「新潟県版塩分チェックリスト」に変更。
d	主食を重ねて食べますか。	1. 週3回以上	2. 週2回以下	
e	丼ものや麺類、カレーライスを食べる頻度は?	1. 週5回以上	2. 週4回以下	
f	魚卵を食べる頻度は?	1. 1日1回以上	2. 2日に1回以下	
g	麺類の汁をどの程度飲みますか。	1. 1/3以上	2. ほとんど飲まない	
h	外食の頻度は?	1. 週2回以上	2. 週1回以下	
i	濃い味付けを好んで食べますか。	1. はい	2. いいえ	

問30.普段デリバリーなどの宅配やコンビニ・スーパーで売っているお惣菜や弁当を買って食べますか。[○は1つ]

1. 毎日	2. 週5~6日	3. 週3~4日	4. 週1~2日	5. ほとんど食べない
-------	----------	----------	----------	-------------

問30

対象:全年齢

コロナ禍による食の確保手段の変化と食塩摂取状況を把握するため追加。

4.調査票の追加項目について⑨

●その他の生活習慣について

問39-1.あなたがデジタル機器で出来ることを教えてください。[○は1つずつ]

		大体は一人で出来る	たまに助けが必要	全くできない/やらない
a	メールでのやり取り	1	2	3
b	インターネットの検索	1	2	3
c	LINE（ライン）でのやり取り	1	2	3
d	ツイッターの利用	1	2	3
e	インスタグラムの利用	1	2	3
f	YouTube等の配信動画の視聴	1	2	3

問39-1

対象:全年齢
健(検)診や健康づくり保健事業の周知・啓発に手法として効果的な媒体の把握を行うための設問。

問39-2

対象:全年齢
長寿あんしん課新規事業で、デジタルを活用した就労・ボランティアのマッチングを行う際、メールアドレスが必要なため追加。

問39-2.電子メール（Eメール）アドレスを持っていますか。[○は1つ]

1.はい 2.いいえ 3.わからない

問41.現在の睡眠で休養が十分にとれていますか。[○は1つ]

1.はい 2.いいえ

問41

対象:全年齢
主観的な睡眠の質が心身の健康に影響することから実態把握のため追加。

4.調査票の追加項目について⑩

●移動について

問42.普段、以下の移動手段を利用しますか。利用ありの場合は、利用頻度と利用 時間を記入してください。[○は1つずつ]

a	徒歩の利用	1.なし	2.あり → 1週間に () 日 → 1日あたり _____ 分
b	自転車の利用	1.なし	2.あり → 1週間に () 日 → 1日あたり _____ 分
c	自動車の利用	1.なし	2.あり → 1週間に () 日 → 1日あたり _____ 分
d	バスの利用	1.なし	2.あり → 1週間に () 日 → 1日あたり _____ 分
e	電車の利用	1.なし	2.あり → 1週間に () 日 → 1日あたり _____ 分

問43.次の設問について、あてはまる回答の番号に○をつけてください。[○は1つずつ]

		あてはまる	あてはや あてはまる	あまりあて はまらない	あてはま らない
a	自宅近くは徒歩での移動がしやすい環境である	1	2	3	4
b	徒歩で外出するのが好きだ	1	2	3	4
c	自宅近くは自転車での移動がしやすい環境である	1	2	3	4
d	自転車で外出するのが好きだ	1	2	3	4
e	自宅近くは自動車での移動が必要な環境である	1	2	3	4
f	自身や他者が運転する自動車で外出するのが好きだ	1	2	3	4
g	自宅近くは公共交通機関を使いやすい環境である	1	2	3	4
h	公共交通機関を利用して外出するのが好きだ	1	2	3	4
i	出かける際に、交通手段がなく困ることがある	1	2	3	4

問42.43

対象:全年齢

健康日本21では身体活動量の増加に資する環境整備の必要性が指摘されている。
居住地域の周辺環境(身体活動を行いやすい環境にあるか)を評価するため追加。

4.調査票の追加項目について①①

●人付き合い・地域活動について

問46.同居しているご家族と会話することが1日に大体どのくらいありますか。[○は1つ]

		選択肢					
a	平日	2時間以上	1～2時間	30分～1時間	15～30分	1～15分未満	ほとんどない
b	週末・休日	2時間以上	1～2時間	30分～1時間	15～30分	1～15分未満	ほとんどない

問47.家の中にいる時、一人で過ごすことが多いですか。[○は1つ]

		選択肢			
a	平日	全くそうである	概ねそうである	あまりそうでない	全くそうでない
b	週末・休日	全くそうである	概ねそうである	あまりそうでない	全くそうでない

問48.おつきあいの状況として、あてはまる回答の番号に○をつけてください。[○は1つずつ]

		週2回以上	週1回程度	月2～3回	月1回程度	月に1回より少ない/全くない	そのような人はいない
a	友人や近所の方と会ったり、一緒に出かけたりすることはどのくらいありますか。	1	2	3	4	5	6
b	友人や近所の方と、非対面（電話、メール、LINE、お手紙等）でやり取りすることはありますか。	1	2	3	4	5	6
c	別居の家族や親戚と会ったり、一緒に出かけたりすることはどのくらいありますか。	1	2	3	4	5	6
d	別居の家族や親戚と、非対面でやり取りすることはありますか。	1	2	3	4	5	6
e	仕事関係の人（職場の上司や同僚、客や取引先の人）と、対面でのやり取りすることはありますか。	1	2	3	4	5	6
f	仕事関係の人と、非対面でやり取りすることはありますか。	1	2	3	4	5	6
g	かかりつけ医や介護スタッフ等の保健・医療・福祉・介護の専門家と会話することはどのくらいありますか。	1	2	3	4	5	6

※該当する方がいない場合（別居の家族・親戚がいない、現在は仕事をしていないなど）は、「6」に○をつけてください。

問46.47

対象:全年齢

家族内孤立を評価する設問。

家族内で心理的に孤立していると、自殺のリスクが高まることが報告されており、実態を把握するため追加。

問48

対象:全年齢

これまでの研究から、孤立状態にあっても専門職との関わりが重要な交流になっていることが示唆されている。専門職との関わりがあることが高齢者の心身の健康にどのように影響するかをより詳細に検証するため追加。

4.調査票の追加項目について⑫

問49.以下の方々との現在の付き合いや関係性にどのくらい満足していますか。[〇は1つ]

※該当する方がいない場合（別居の家族・親戚がいない、現在は仕事をしていないなど）は、「5」に〇をつけてください。		満足	やや満足	やや不満	不満	そのような人はいない
a	同居しているご家族との付き合いや関係性	1	2	3	4	5
b	配偶者との付き合いや関係性	1	2	3	4	5
c	別居の家族や親戚との付き合いや関係性	1	2	3	4	5
d	友人や近所の方との付き合いや関係性	1	2	3	4	5
e	仕事関係の人（職場の上司や同僚、客や取引先の人）との付き合いや関係性	1	2	3	4	5
f	かかりつけ医や介護スタッフ等の保健・医療・福祉・介護の専門家との付き合いや関係性	1	2	3	4	5

問49

対象:全年齢

付き合いの満足度を評価する設問。

交流頻度とは別に、満足度が心身の健康に影響する可能性があるため追加。

4.調査票の追加項目について⑬

問50.以下のような会・グループ等にどのくらいの頻度で参加していますか。[○は1つ]

あてはまる回答の番号に○をつけてください。[○は1つずつ]

		週 4 回 以上	週 2 ～ 3 回	週 1 回	月 1 ～ 3 回	年 に 数 回	参加していないが、 今後参加したい	参加していないし、 今後参加しない
a	ボランティアのグループ	1	2	3	4	5	6	7
b	スポーツ関係のグループやクラブ	1	2	3	4	5	6	7
c	趣味関係のグループ	1	2	3	4	5	6	7
d	学習・教養サークル	1	2	3	4	5	6	7
e	ヘルス喫茶サロン・うえるかむ事業等の介護予防のための通いの場	1	2	3	4	5	6	7
f	生きいきクラブ（老人クラブ）	1	2	3	4	5	6	7
g	町内会・自治会	1	2	3	4	5	6	7
i	その他の会や団体等	1	2	3	4	5	6	7

問50

対象：全年齢

社会活動への参加状況を把握するための設問。

他自治体とも比較できるように、厚労省形式（介護予防・日常生活圏域ニーズ調査の項目）に変更。さらに、今後の参加意向も把握できるように、選択肢を追加。

問51

対象：全年齢

人付き合いに対する志向性を問う設問。

個人の考え方が行動に影響すると考えられるため追加。

問51.あなたは人とお付き合いするよりも、一人でいる方が好きですか。[○は1つ]

※家の中か外出先かは問いません。

1. そう思う 2. まあそう思う 3. あまりそう思わない 4. そう思わない

4.調査票の追加項目について⑭

問52.あなたは次の関係性の中で何らかの役割や役目がありますか。[○は1つずつ]

※きちっとした役割や役目でなくても、ご自身が役割や役目と感じている場合は含めてください。

a	家族や親族の中	1. はい	2. いいえ
b	職場や仕事上のお付き合いの中	1. はい	2. いいえ
c	所属する地域活動やグループ活動の中	1. はい	2. いいえ
d	友人や知人などの私的なお付き合いの中	1. はい	2. いいえ
e	上記 a) ~ d) 以外の場やお付き合いの中	1. はい	2. いいえ

問52

対象: 全年齢

社会的孤立と健康との関連をより詳細に検証するために追加。

社会的孤立状態にはないが(あるいは、ソーシャルネットワークはあるが)、役割意識が持てない・低いことが心身の健康に影響を与えるのかを検証する。付き合いはあるが(孤立はしていないが)、役割意識が低いことが健康にネガティブな影響を与える場合は、役割を持てるような地域づくりを行うことが必要となる。

4.調査票の追加項目について⑮

●仕事・有償ボランティアについて

問53.高齢者を雇用している企業に対して、どのようなイメージをお持ちですか。

1. 良い 2. まあ良い 3. どちらとも言えない 4. あまり良くない 5. 良くない

問53

対象:全年齢

高齢者の就労機会を増やすための知見として尋ねる設問。高齢者を雇用している企業に対するイメージがよいという知見を得ることができれば、今後、企業に高齢者の活用を促す際に高齢者雇用により企業が得られるメリットとして企業に提示し、企業が高齢者を雇用する動機を高めることができると考えられるため追加。

問54.最も長く従事していたお仕事の内容はどのようなものですか。

今働いている仕事が最長職の場合、その仕事についてお答えください。

- | | | | |
|----------|---------------|-----------|-------------------|
| 1. 管理職業務 | 2. 専門的・技術的な仕事 | 3. 事務的な仕事 | 4. 生産工程の仕事 |
| 5. 運搬の仕事 | 6. 輸送・機械運転の仕事 | 7. 販売の仕事 | 8. サービスの仕事 |
| 9. 清掃の仕事 | 10. 建設・採掘の仕事 | 11. 保安の仕事 | 12. 主婦/主夫 13. その他 |

問54

対象:全年齢

過去(または現在)の職種により、就労や有償ボランティアに関するニーズが異なることが予想されるため、特性ごとにニーズを分析するため追加。

4.調査票の追加項目について⑬

問55-1.主な仕事の状況について、それぞれあてはまる回答の番号に○をつけてください。

a	頻度	1. 週1回未満	1. 週1日	2. 週2日	3. 週3日	4. 週4日	5. 週5日以上
b	勤務時間	1. 1時間未満	2. 1～4時間未満	3. 4～7時間未満	4. 7時間以上		
c	雇用形態	1. 正規の職員・従業員	2. パート・アルバイト(契約社員・嘱託・派遣を含む)				
		3. 自営業・自由業	4. その他				

問55-1

対象: 全年齢

詳細な情報を収集するため追加。

問56.あなたが望む条件に合う有償ボランティアがあれば、新たにやってみたいですか。

今仕事をしていても、他の仕事に関心がある場合は1に○をつけてください。

問56-1.どのような業種の企業や組織で働きたいですか。

問56-2.どのような内容の仕事をしたいですか。

問56-3.どのような仕事を好みますか。

問56-4.働く日数はどれくらいを希望しますか。

問56-5.働く時間や通勤時間はどれくらいを希望しますか。

問56-6.仕事を選ぶ時に重視することは何ですか。

問56

対象: 全年齢

就労ニーズに関する設問。

4.調査票の追加項目について⑰

問57.あなたが望む条件に合う有償ボランティアがあれば、新たにやってみたいですか。

問57-1.どのような内容の活動がしたいですか。

問57-2.従事する日数はどれくらいを希望しますか。

問57-3.従事する時間や移動時間はどれくらいを希望しますか。

問57-4.有償ボランティアを選ぶ時に重視することは何ですか。

問57

対象:全年齢

有償ボランティアに関する設問。

社会参加の促進に向け、特に高齢者やプレシニアの就労・ボランティア活動に対するニーズを把握するため追加。

以下2点に関する知見の提示により、高齢者の就労・有償ボランティアの普及に貢献できる。

1)企業・団体側が高齢者に掲示すべき募集要項を明らかにすることにより、就職後の雇用者側と高齢者側のミスマッチ(高齢者が思っていた業務・職場環境と違う、といったこと)を防ぐ。

2)高齢者の特性別ニーズを明らかにすることにより、高齢者が従事可能(あるいは従事しやすい)な業務・作業を企業・団体が創出する際の基礎資料とする。

問58.和光市が各種事業や支援情報を個別にご案内する事を希望しますか。

ご連絡先を下記にご記入ください。必要に応じて個別にご連絡させていただきます。

※個人情報とは和光市にて厳重に保管いたします。

問58

対象:全年齢

市からアウトリーチをかける際、必要となる情報を把握するため追加(同意を兼ねる)。

4.調査票の追加項目について⑱

● 日常生活で感じていること

問59.最近2週間のこころの状態について、あてはまる回答の番号に○をつけてください。[○は1つずつ]

		いつも	ほとんど いつも	半分以上 の期間	半分以下 の期間	ほんの ために	まったく ない
a	明るく、楽しい気分で過ごした。	1	2	3	4	5	6
b	落ち着いた、リラックスした気分で過ごした。	1	2	3	4	5	6
c	意欲的で、活動的に過ごした。	1	2	3	4	5	6
d	ぐっすりと休め、気持ちよくめざめた。	1	2	3	4	5	6
e	日常生活の中に、興味のあることがたくさんあった。	1	2	3	4	5	6
f	毎日の生活に充実感がない。	1. はい 2. いいえ					
g	これまで楽しんでやれていたことが楽しめなくなった。	1. はい 2. いいえ					
h	以前は楽にできていたことが今ではおっくうに感じられる。	1. はい 2. いいえ					
i	自分が役に立つ人間だと思えない。	1. はい 2. いいえ					
j	わけもなく疲れたような感じがする。	1. はい 2. いいえ					

問59

対象: 全年齢

f～gは基本チェックリスト項目。フレイルの判定のため追加。
カットオフ値を用いて精神的健康状態を評価するため、選択肢を4件法から6件法に変更。

問60.この1か月間のこころの状態についてお答えください。[○は1つずつ]

a	この1か月間、気分が沈んだり、憂うつな気持ちになったりすることがよくありましたか。	1. はい 2. いいえ
b	この1か月間、どうしても物事に対して興味がわかない、あるいは心から楽しめない感じがよくありました	1. はい 2. いいえ

問60

対象: 全年齢

「二質問法」うつ病のスクリーニング項目。実態把握のため追加。

4.調査票の追加項目について⑬

問61.あなた自身のお考えについて、あてはまる回答の番号に○をつけてください。[○は1つずつ]

		そう 思う	どちらか といえば そう 思う	どちらとも いえない	どちらか といえば そう 思わない	そう 思わない
a	ご近所の人は信頼できる。	1	2	3	4	5
b	多くの場合、ご近所の人は、他人の役に立とうとする。	1	2	3	4	5
c	普段の生活で、自分と背景が似ている人（性別、世代、暮らしぶりなどが同じような人）との付き合いが多い。	1	2	3	4	5
d	普段の生活で、自分と背景が異なる人（性別、世代、暮らしぶりなどが違う人）との付き合いが多い。	1	2	3	4	5

問61

対象：全年齢

項目c.d

ソーシャルキャピタルの構成要素「信頼」「規範」に加え、ネットワーク結束型ソーシャルキャピタル（組織内における人と人との同質的な結びつき）と橋渡し型ソーシャルキャピタル（人と人との異質的な結びつき）を調べるため追加。

4.調査票の追加項目について②

問62.以下の質問について、あてはまる回答の番号に○をつけてください。[○は1つずつ]

		決して ない	ほとんど ない	時々 ある	常に ある
a	自分には人との付き合いがないと感じることがありますか。	1	2	3	4
b	自分は取り残されていると感じることがありますか。	1	2	3	4
c	自分は他の人たちから孤立していると感じることはありますか。	1	2	3	4

問62

対象:全年齢

孤独感を評価する尺度。

次の4群に分類:

- 1)社会的孤立にあるが孤独感を感じていない
- 2)社会的孤立にある上に孤独感を感じている
- 3)社会的孤立にないが孤独感を感じている
- 4)社会的孤立にないし孤独感もない。

1)～3)は何らかの介入や対応が必用な層であり、群別の介入策を検討する際の基礎資料とするため追加。

問68.加入保険についておうかがいします。[○は1つ]

1.国民健康保険 2.社会保険(共済含む) 3.後期高齢者医療保険 4.その他

問68

対象:全年齢

加入保険により、傾向が異なるのか把握するため追加。

地域の絆と安心な暮らしに関する調査票 の削除・変更項目について

- 資料1-3 参照